

カーボンニュートラルに向けての取り組み

三浦工業株式会社

代表取締役社長執行役員CEO 宮内 大介

熱・水・環境のベストパートナー

MiURA

社名 三浦工業株式会社
 所在地 愛媛県松山市堀江町7番地
 設立 1959年5月
 資本金 95億4,400万円

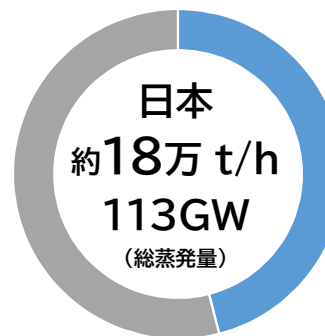
ミウラグループ[°] (三浦工業含む) 国内 10社、海外 17社
※ 2022年3月31日現在
 従業員 グループ 6,070名
 うち海外 1,801名

事業内容 機器販売事業/メンテナンス事業
 小型貫流ボイラ・船用補助ボイラ・排ガス(廃熱)ボイラ・水処理機器・食品機器・滅菌器・薬品等の製造販売、メンテナンス、環境計量証明業など

連結売上高 1,435億円(2022年3月期連結)
 営業利益 194億円

格付情報 発行体格付 A(維持)2021年11月公表
 株式会社格付投資情報センター(R&I)

【ボイラ市場におけるミウラの進出市場での占有率】



ミウラシェア46.8%
 約8.5万t/h
 約53GW

* 発電用を除く
 * 値は総蒸発量ベース(2021年3月当社調べ)

※ミウラボイラのCO₂排出量：日本全体の約2.0%

【ボイラの主な導入業種、使用用途】



醸造業



食品業



化学工業

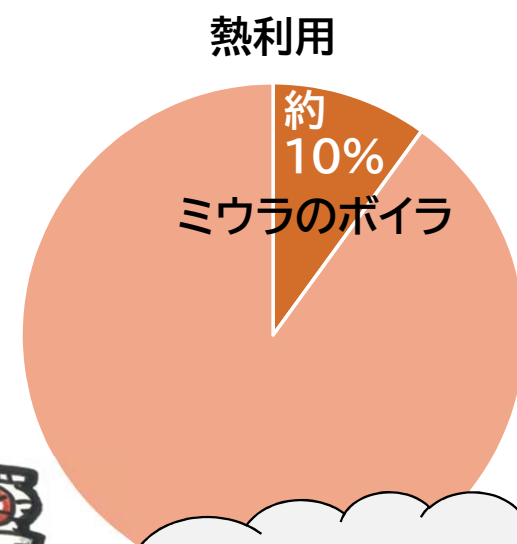
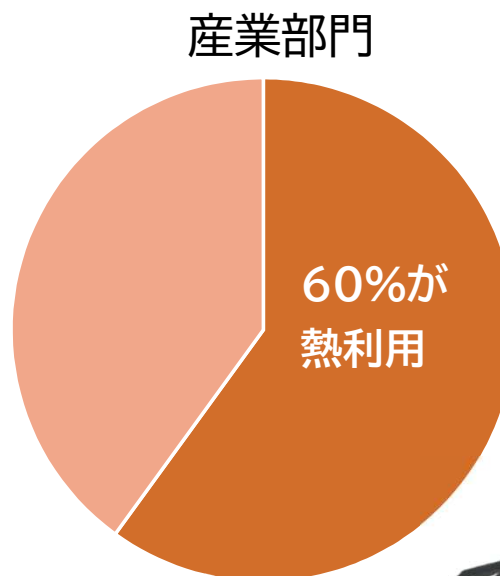
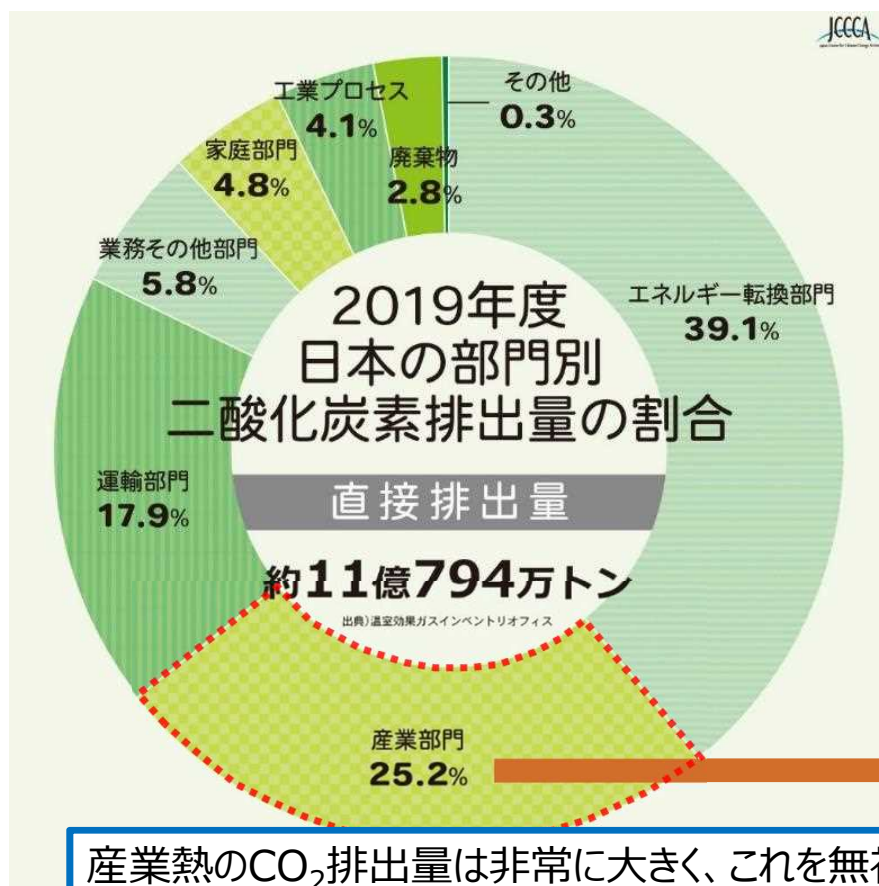
用途：暖房、給湯、加熱、殺菌消毒 等

蒸気は使い勝手が良く、産業熱として非常に重要

カーボンニュートラルに向けて

私たちの暮らしには熱が必要

日本のエネルギー需要における熱の実態・・・かなりの排出量です



産業熱のCO₂排出量は非常に大きく、これを無視してカーボンニュートラルは達成できない。

参考: 全国地球環境温暖化防止活動推進センターHP

水素は燃焼時の生成物が
水のみであるため、
燃焼時の**CO₂**排出は**ゼロ**になります。

グリーンスチーム®

グリーン蒸気®



産業熱のカーボンニュートラルの手段としてグリーン水素の活用が期待されている。
三浦工業ラインナップの水素燃料ボイラ。燃焼時のCO₂排出ゼロ！

※再生可能エネルギー由来の一次エネルギーを使用した場合、グリーンスチーム®、グリーン蒸気®になります。

SI-2000 VS/AS

カーボンニュートラルに向けて

【三浦工業の取り組み】

● 産業熱のカーボンニュートラル化

→水素利用機器（水素ボイラ）の低コスト化、安全性向上、ラインナップ拡充、高効率化、低NOx化の実施

● 低NOx化の実現

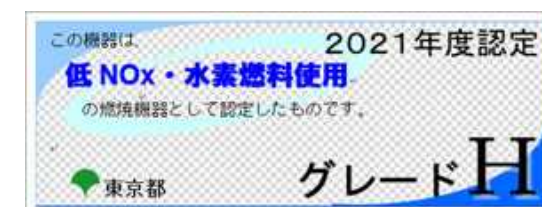
→全国初！東京都低NOx・低CO₂小規模燃焼機器認定

● 再エネ水素の活用

→再生可能エネルギー由来の電力から水素を製造し、水素ボイラーなどで工場での熱利用を実施（山梨県米倉山 NEDO実証）



水素ボイラ



東京都低NOx・低CO₂小規模燃焼機器認定

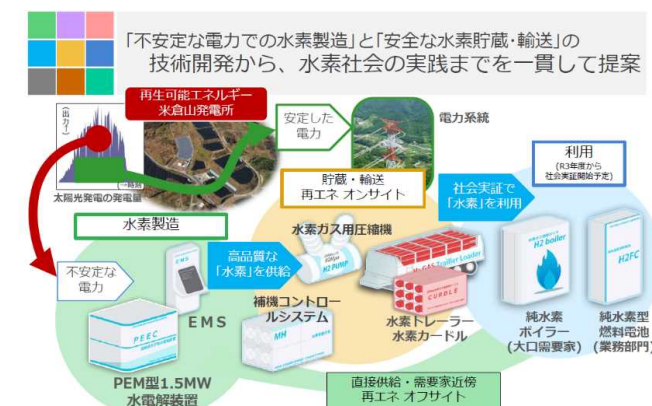
【グリーン水素の活用を拡大させていくための課題、一緒に取り組むべき事】

● より安全で安価・安定的なグリーン水素供給網の構築

● 取り巻く環境への期待。水素インフラ整備、普及に向けた導入支援、関連団体の率先的な水素エネルギーの活用。

● 水素ボイラの設置における安全基準の確立

→当社の水素ボイラは安全性向上のために屋外設置を基準としている。東京都内の地域冷暖房、商業施設、病院などは屋内設置が求められる場合が多い。屋内設置基準や指針が示されることで安全性を確立、普及につながる。



山梨県米倉山 NEDO実証

熱・水・環境のベストパートナー

MiURA

ご清聴ありがとうございました。